



# 社協だより

編集・発行

社会福祉法人 大洲市社会福祉協議会  
〒795-0064 大洲市東大洲270-1  
TEL 0893-23-0313  
<http://www.ozushakyo.jp>

大洲市社協

検索

ホームページ



## ほし ぞら CIL 星空 による福祉体験教室

大洲市社協では、「CIL 星空」から講師を招いて新たな福祉体験教室を実施しています。「CIL 星空」は、実際に障がいをもつ人が中心となり、『障がい者が障がいのない人と同じように暮らせるようにしたい』、『障がいを理由に「できない」ということを全てなくしたい』という思いのもと、地域で一人でも多くの障がい者が自立生活を行えるようになるための支援、サービスを行っている団体です。教室を体験した生徒たちは、「皆と違う人生」があることを知り、一緒に遊んだりする体験を通して「お互いが対等で気を遣うことなく暮らしていける地域」の実現について、イメージをしっかりと捉えることが出来ていたようでした。

### 大洲東中学校3年生・長浜中学校3年生との各体験教室の様子

車椅子での生活、盲導犬ユーザーとしての生活など、様々な人生を送る人から率直な思いを聞くことができ、障がい者の思いへの理解をそれぞれ深めました。

学校でこの教室を実施してみたいなど  
ありましたら、随時受付をしております。  
お気軽にご相談ください。

**<連絡先> 23-0313**

大洲市社会福祉協議会 地域支援課



## 令和5年度の事業報告と収支決算をご報告します（抜粋）

～大洲市社会福祉協議会～



## ★地域福祉活動推進

## ■地区別福祉懇談会の開催

各地区社協役員・協力会員の参集を得て社協事業等についての意見交換を行うとともに、小地域におけるネットワーク活動を進めるための懇談会を開催しました。

- ・開催 11地区

## ■在宅福祉サービス事業の推進

地域の福祉問題を、地域住民同士が互いに支えあいながら解決を目指す一つの手段としての在宅福祉サービス事業を推進しました。

- ・ごみ出し・草刈・買い物・外出時の介助等
  - ・地区社協事業やサロン活動等の支援
- 会員数 627名（令和6年3月31日現在）  
活動実績 4,006回

## ■生活支援体制整備事業の実施

生活支援コーディネーターを4名配置し、多様な主体による生活支援サービスの提供体制の充実・強化を図ることを目的に各種事業を実施しました。

- ・第1層協議体会議の開催 2回
- ・第2層協議体会議の開催 16地区26回
- ・おおず井戸端会議の実施 1地区



『白滝放課後子ども教室』の活動最終日、白滝公民館で宇宙を探検しました★（企画・協賛 あらしサミット）

## ■災害ボランティアへの備え・対応

令和6年能登半島地震災害に関する取り組みとして、義援金募金活動を実施したり、災害ボランティアセンター運営支援で職員を派遣したりしました。



義援金募金活動



職員派遣による運営支援

## ■大洲市サロン運営事業の実施

孤独感の解消や社会参加による生きがいづくりなどを目的に、地域住民と共につくる「ふれあい・いきいきサロン」を支援しました。

- ・サロン数 104カ所
- ・お世話人交流会実施 5カ所



サロンでバルーンアート作り🌻

## ■大洲市点訳奉仕員等養成講座事業の実施

障がい者の社会参加促進やボランティア活動への意識啓発のため各種ボランティア養成講座を開催しました。

- ・手話・音声訳・点訳・要約筆記・傾聴講座の実施



傾聴ボランティア養成講座で熱心に傾聴中👂

## ■福祉体験教室のコーディネート

- ・学校・団体数 13校
- ・回数 27回



小学校での盲導犬キャラバン

## ■ワークキャンプ事業の実施

夏季休暇中に市内の福祉施設等の協力を得て、中高生を対象に3日間のボランティア体験学習を実施しました。

- ・協力施設 3施設
- ・参加校 中学校3校6名



高齢者や子どもたちとのふれあい



## ■地区社協地域福祉活動への助成

地区社協が主体となって実施している地域ふれあい事業・独居高齢者のつどい・独居高齢者料理教室などの小地域福祉活動に対し、支援・助成を行いました。



独居高齢者料理教室

## ★相談支援・権利擁護

### ■生活困窮者自立支援事業の実施

生活全般において何らかの理由で生活のしづらさを感じられている方の自立を図るため相談支援と啓発を行いました。

- ・新規相談件数 109件
- ・新規プラン作成件数 8件
- ・再プラン作成件数 2件

### ■生活福祉資金貸付事業の実施

低所得者世帯などに対し、無利子又は低利での資金の貸し付けとともに、必要な援助指導を行い、経済的自立と生活意欲の助長促進を図りました。

- ・相談延べ件数 294件（本則）

## ■まごころ銀行運動の推進

まごころ銀行は、地域住民の善意の預託を受けて、社会に還元して地域福祉事業に役立たせることを目的とした制度で、その啓発推進に努めました。

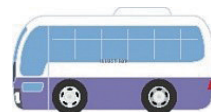
- ・金銭預託
 

（一般預託）15件	726,000円
（指定預託）93件	4,767,064円

## ■マイクロバスの運行

地域福祉の向上を目的とした研修及び福祉活動、サロン活動の視察研修、ボランティアグループの研修等に利用しました。

- ・利用回数 43回
- ・人数 604名



## ■共同募金活動の推進

- ◇実施期間 10月1日～12月31日
- ◇実績額 11,510,034円



各地域のたくさんの方々にご協力いただきました

## ■大洲市成年後見制度利用促進事業の実施

大洲市から受託設置している「大洲市成年後見サポートセンター」では、認知症などの理由により、ご本人だけでは財産管理や意思決定が難しくなった場合などに、成年後見制度の利用に関する相談を受け付け、関係機関につなぐなどの支援を行いました。

- ・新規相談件数 44件



出張相談会も実施しました

## ■在宅介護支援センターの運営

担当地区の民生児童委員、在宅福祉推進員等と連携を図りながら、在宅介護に関する総合相談や各機関とのサービス調整など、在宅での介護の支援に努めました。また、地域に密着した支援センターを目指し、サロン活動や地区行事に積極的に参加し、介護教室などを実施しました。

- ・相談件数 88件
- ・高齢者実態把握 263件
- ・地域事業参加 103件



## ■食料品等緊急一時生活支援事業の実施

離職等によって生活に困窮している者又は世帯に対して、支援を行うことで当該窮迫状態の改善が見込まれる場合に、一時的に食料等を提供し、継続的な相談支援を行うことによって、自立に向けた生活の向上を図りました。

- ・支援件数 25件

## ■フードパントリー事業の実施

何らかの理由により生活に困られている方（世帯）やこれまでに各種相談に来られたひとり親及び多子世帯などを対象に、地域の方や企業、ボランティア団体等から寄付していただいた食料品などを提供し、自立支援を図りました。

- ・配布延べ件数 361件

## ★介護保険事業 ★障害福祉サービス事業

- ケアマネジメント事業の実施
- ホームヘルプ事業の実施
- 訪問入浴介護事業の実施
- デイサービスセンター事業の実施
- 障害者ホームヘルプ事業の実施
- 同行援護事業の実施
- 移動支援事業の実施
- 地域活動支援センター運営事業の実施



♥若宮デイサービス♥  
干し柿作りやクリスマスやハロウィンなど😊

## ■心配ごと相談所の運営

総合福祉センター及び各支所に設置した相談所において、一般相談や法律相談、介護相談、電話による相談など、福祉ニーズの的確な把握に努めました。（詳しくは8面に掲載しています）

- ・相談件数 207件
- ・相談者数 257名



## ■点字広報等発行事業の実施

視覚・聴覚に障がいのある方などに対して、情報伝達・社会参加促進を図るため各種広報誌などの点訳、音声訳を行いました。

- ・大洲市広報・社協会報誌などの点訳及び音声訳テープ・CD作成

【協力】音声訳ボランティアサークル「こころ」  
点訳サークル「ひとみ」



「こころ」結成30周年記念祝賀会🌸にて

## ★その他

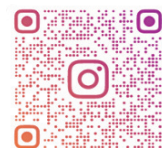
### ■総合福祉センターの指定管理運営

- ・利用件数 4,049件

### ■広報活動の実施

- ・会報「社協だより」発行
- ・ホームページ・フェイスブック・ツイッター・インスタグラム・公式ラインによる情報発信を行いました。

ホームページ      公式 Instagram      公式 LINE



OZU.SHAKYO

この他、多数の事業を実施しておりますので、詳細はホームページをご覧ください。

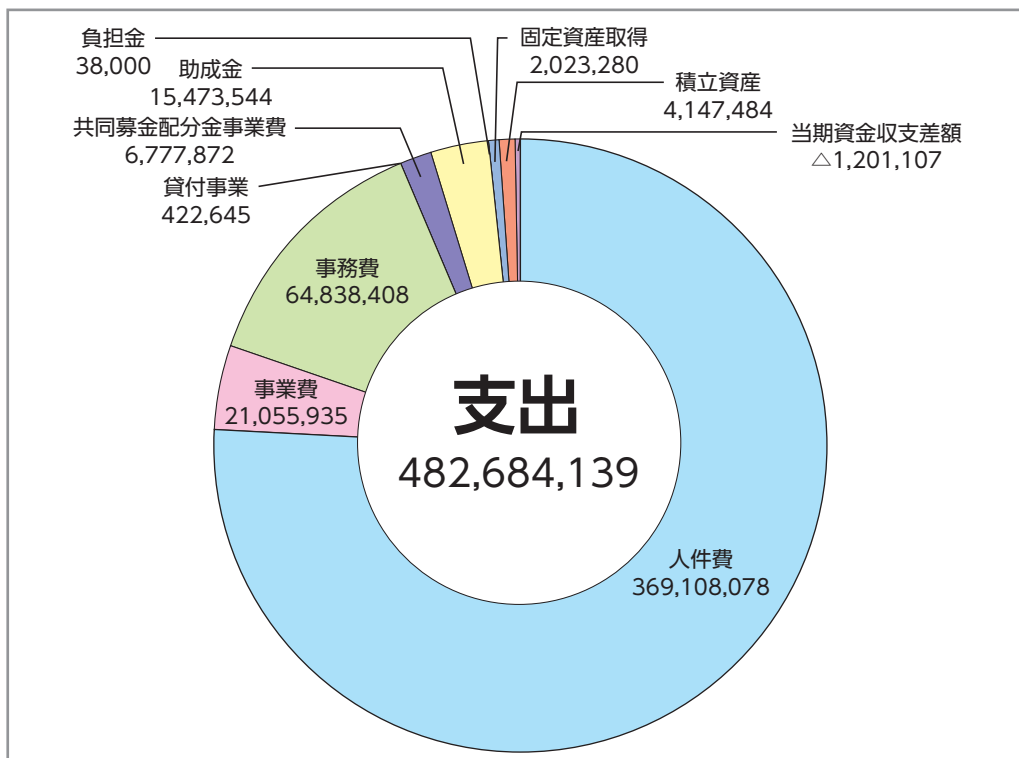
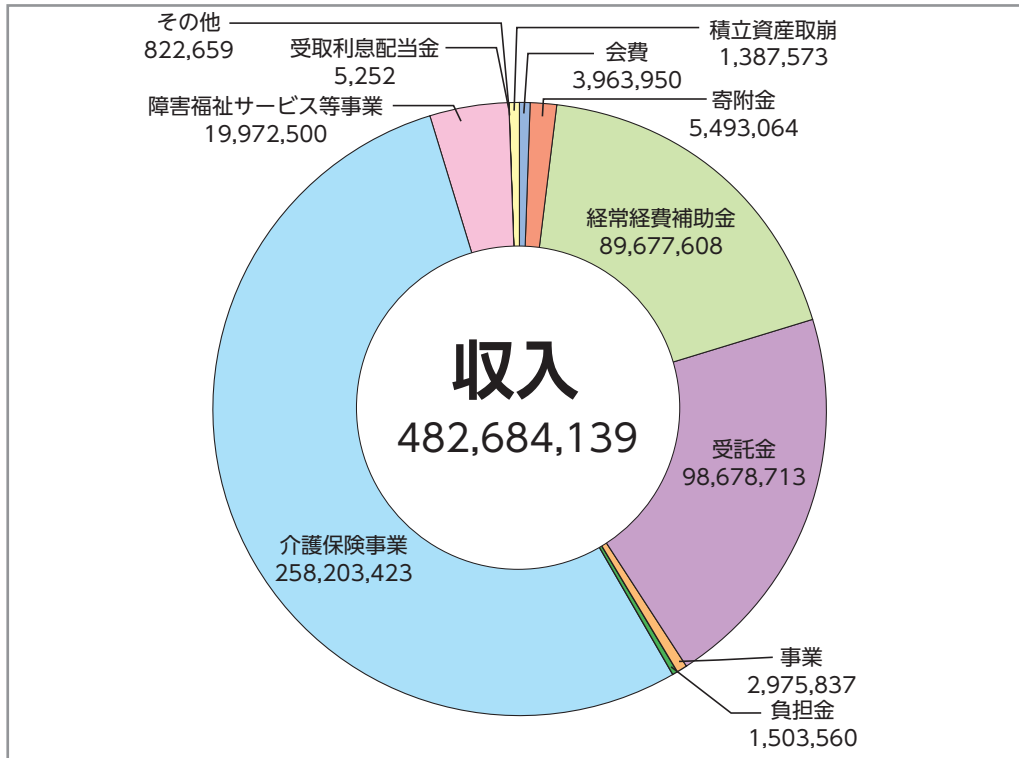
# 令和5年度大洲市社会福祉協議会 決算の概要

6月12日に理事会、6月26日に評議員会を開催し、決算及び事業内容について承認を得ました。

《社会福祉事業・公益事業》 法人運営・地域福祉・介護事業、指定管理運営事業

- ◇法人運営事業    ◇補助事業    ◇委託事業    ◇共同募金事業    ◇福祉ボランティア基金運営事業
- ◇まごころ銀行事業    ◇居宅介護支援事業    ◇訪問介護事業    ◇通所介護事業
- ◇訪問入浴介護事業    ◇総合福祉センター管理運営事業

(単位：円)



※この計算書は、「社会福祉法人会計基準」(平成28年3月31日 厚生労働省令第79号)により会計処理を行っております。

# ～生活支援コーディネーターだより～ 祇園公園にベンチを設置しました！

2024年  
3～4月  
活動報告  
祇園の話

## 生活支援体制整備事業って何？

生活支援体制整備事業とは、少子高齢化などの社会的背景を元に、健康づくり（介護予防）を重視しながら、多様な主体で助け合い・支え合いのできる地域づくりに取り組むものです。大洲市社会福祉協議会では、大洲市から委託を受け、大洲市17圏域ごとに「生活支援コーディネーター」と「協議体」を設置し、協働して助け合いの地域づくりに取り組んでいます。

## 八多喜地区協議体「祇園の<sup>わ</sup>話」ベンチプロジェクト実施報告

協議体が設置できた地区から、高齢者を対象にした「地域と暮らしのアンケート」調査を実施しています。八多喜地区では、祇園公園に腰かけがほしいという複数のご意見があり、八多喜地区協議体「祇園の<sup>わ</sup>話」と大洲市老人クラブ「八多喜寿会」が協働して手作りベンチを設置しました。

粟津小学校3・4年生、粟津児童クラブの子どもたちにイラストやメッセージを書いてもらった後、祇園の<sup>わ</sup>話メンバーで組立、ニス塗布。八多喜地区の老若男女が協力し合っ、かわいらしいベンチが完成しました！



粟津児童クラブの子どもたちによる作品。ベンチの脚にもイラストを描いてくれました。



「祇園の<sup>わ</sup>話」の皆さん。ニス塗布は、詳しい方から助言をいただきながら行いました。また「八多喜寿会」様にも、費用を一部負担していただきました。



2024年  
さくら  
まつりでの  
様子



手作りベンチの他に、清流園様と八多喜ゲートボールクラブ様のご厚意により、ベンチを2台寄贈していただきました。こちらは祇園公園の頂上へ。八多喜の町並みを一望できます。



## 令和6年能登半島地震に伴う災害ボランティアセンター応援派遣職員からのご報告

活動期間6月18日(火)～6月24日(月) 地域支援課 みじおか さとし 藤岡 慧

この度、石川県社会福祉協議会の要請を受けて、愛媛県・市町社会福祉協議会における災害時支援協定に基づき、石川県珠洲市社会福祉協議会が運営する災害ボランティアセンターの運営支援に従事しました。

私が配属されたのは、資機材班です。資機材班の役割はボランティアさんに貸し出す物品や車両の管理です。珠洲市災害ボランティアセンターでは、ボランティアバスに登録されたり、団体で事前に予約をされたり、毎日100人前後のボランティアが活動されています。

その為、軽トラックが40台以上、その他の車両も10台程準備され、ボランティアの方が運転して現地に出向く方法をとっています。災害ボランティアセンターが管理する貸出車両数としては、かなり多いとのことでした。

災害ボランティアセンターの流れとして、ニーズ班が依頼を受け、被災者に寄り添い丁寧に聞き取りし、現地調査班がお宅に出向き、作業内容や必要人員数を確認・判断します。そして、マッチング班がボランティアに繋ぐ事になります。参加されたボランティアの方々に安全に活動していただくために、また地域住民に寄り添った活動となるように、災害ボランティアセンターがあるということを実感できました。



能登ポーズをする災害ボラ応援の社協職員

### ～地元の方から聞いたお話～

「令和5年5月5日の震度6強の地震で壊れた屋根瓦を、11月にやっと直せたが、年が明けた1月1日の震度7の地震により倒壊してしまった。地域の多くの方が昨年の地震でお金をかけ自宅を改修したところ数ヶ月で倒壊し、生活がままならず珠洲市を後にされた方も多い。」と複雑な表情を浮かべておられました。



(←) 左の写真は地震の際に液状化現象によりマンホールが1m60cmも浮上してきているものです。地域差は多少ありますが、歩道が歩ける状態でなかったり、土砂崩れの上に応急的にアスファルト舗装して通行したり、電柱は傾いているものも多く、水道復旧困難地域があったり、復興と呼べるには程遠い現状ではありますが、珠洲市災害ボランティアセンターは地域の為に毎日奮闘しています。

## 第17回災害ボランティア研修会のお知らせ

毎年のように起きる災害に皆さんはどのように備えていますか。「自分の命は自分で守る！家族を助ける！」をテーマに、災害への備えについて、一緒に考えたいと思います。

- 日時 令和6年9月8日(日) (小雨決行)  
午後12時30分～午後3時30分  
(受付は午後12時から)

- 場所 大洲市家族旅行村オートキャンプ場

- 参加費 無料

- 持ち物 先着5組まで

- マイ箸、マイコップ、マイ水筒、タオル、軍手、非常用持出袋(持っている人)



- 内容①ブルーシートを使ったタープづくり  
②簡単なロープワーク  
③非常用持出袋の点検(持っている人は持参してください。)  
④エコストーブを使ったご飯作りや紙皿・紙スリッパ作り

申し込み締め切り 令和6年9月1日(日)  
皆様のご参加をお待ちしています！

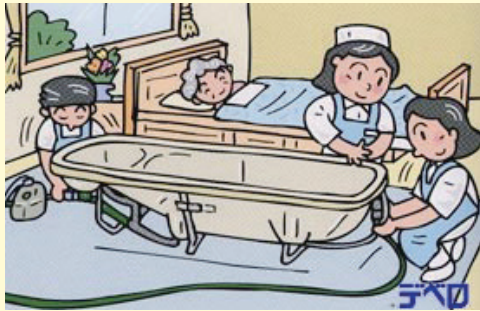
(申し込み・問い合わせ先)

- 大洲市ボランティア連絡協議会  
事務局携帯：(新 健史) 090-9558-1008
- 大洲市社会福祉協議会地域支援係  
☎23-0313

## 寄贈していただいた訪問入浴用の車両が活躍中です！！

令和6年3月に、24時間テレビチャリティー委員会様から寄贈していただいた訪問入浴車が、早速、活躍しています。

ご自宅までの道が狭くてこれまでの入浴車では行けなかったところにお住まいの方にも、訪問入浴を利用していただくことが出来るようになりました。



① ご自宅で浴槽をセットして準備完了！



② 洗髪・洗身を行い、着衣して、入浴後の血圧などの状態を確認。

この車両は、入浴に必要な浴槽やボイラーなどを搭載した軽自動車で、大型車での訪問が難しい山間部や道幅が狭い場所なども訪問することができます。➡



実際に数年間、清拭だけで過ごされていた方のご自宅を訪問し、ご利用者様から「気持ちええ」という言葉と、入浴後にはご家族からも感謝の言葉をいただいた時には、私たち職員も大変嬉しく、安堵しました。

(訪問入浴事業所管理者より)

大洲は、街中の狭い路地や山間部の多い土地柄なので、今後もこの軽自動車の入浴車が活躍してくれることと思っております。

## まごころのおくりもの 5月分

### 金銭の部（指定分）

《平野地区社協へ》  
大藤 富茂 様 平野町

《大川保健福祉協議会へ》  
古谷 正文 様 成能

《新谷地区社協へ》  
野寄 志げ子 様 新谷

《上須戒地区社協へ》  
當川 幅光 様 菅田町

### ～食料品他、生活支援品として～

えひめフードバンク愛顔 様  
食料品 7箱

ダイナム愛媛大洲店 様  
テレビ他雑貨、食料品一式



あたたかいご寄附をありがとうございました。感謝をこめて掲載させていただきます。

## 心配ごと相談所案内 (無料)

本 所	【一般相談】 毎週月・水曜日 【介護相談】 毎週金曜日
	【弁護士法律相談】 8月6日・20日 ※相談時間20分 ※相談日の前週の火曜日までに要予約 (Tel 23-0313)。 ※申し込み順で午前の最初の枠から逐次予約受付となります。
	【司法書士等法律相談】 8月27日と毎週木曜日 10:00~16:00 (弁護士法律相談は15:00まで) 大洲市総合福祉センター (お盆 8/13~8/15、祝日を除く) Tel 23-0313
	長浜支所 8月23日(金) 13:00~16:00 長浜体育館 Tel 52-1194 ※法律相談あり
肱川支所 8月 5日(月) 13:30~16:30 肱川地区複合公共施設 Tel 34-2312 ※法律相談あり	
河辺支所 8月 9日(金) 9:00~12:00 河辺老人福祉センター Tel 39-2510	